医療機関・消防機関・自治体と連携した緊急時対応能力の向上

資料
日本原燃株式会社
2026年11月25日

当社は、再処理工場のしゅん工・操業を控えており、万が一施設内で被ばくを伴う労働災害や設備事故、火災などが発生した場合に、迅速かつ適切な対応を行えるよう、医療機関、消防機関、自治体の方々とより一層連携を強化することが重要になっています。

＜医療機関・消防機関との連携＞

被ばく医療合同訓練

当社施設内で放射性物質による汚染を伴う傷病者が発生した場合に迅速な処置を受けられるよう、青森労災病院、八戸市立市民病院、弘前大学医学部附属病院、十和田市立中央病院の青森県内４つの医療機関と『放射性物質による汚染を伴う傷病者の診療に関する覚書』を締結し、それぞれの病院と被ばく医療合同訓練を定期的に実施しています。

訓練では、救急隊員による傷病者の当社施設から病院までの搬送、放射線に関する知識・経験を有する当社の放射線管理員による傷病者の汚染状況等の伝達、医療関係者による除染や医療処置などのそれぞれの役割分担に応じた対応が確実にできることを確認しています。



放射線管理員が傷病者の汚染状況等を医師へ伝える様子



傷病者を救急車から降ろす様子

公設消防との合同訓練

当社施設内で火災が発生した場合に備え、北部上北広域事務組合消防本部と『原子燃料サイクル施設における消防活動に関する協定書』を締結し、毎年、合同訓練を実施しています。

訓練では、当社自衛消防隊による火災発生時の初動対応や、その後の公設消防による指揮本部の立ち上げ、消火・救助などの活動が迅速・的確にできることを確認しています。



はしご車を使用した救助訓練の様子



放射線管理員が公設消防隊員をサーベイする様子

＜自治体との連携＞

青森県原子力防災訓練

10月31日、六ヶ所村で青森県原子力防災訓練が行われ、六ヶ所村にお住いの方々や当社社員も含め約540名が参加しました。訓練では、再処理工場で重大事故が発生し、施設から半径５km圏内にお住まいの方々に屋内退避いただく「全面緊急事態」が発令された想定で、屋内退避の流れなどが確認されました。



放射線管理員が避難住民をサーベイする様子

当社事業は、地域の皆さまの信頼があって成り立つものであり、
長年にわたって支えていただいている地域の皆さまへの感謝の気持ちを忘れることなく、
これからも地域とともに歩み続け、地域の発展に貢献してまいります。

以 上